

えたのかも、検討していく必要がある。

2. 「梨泰院クラス」のあらすじと主な登場人物

「梨泰院クラス」とはどのような物語なのか、どのような登場人物が描かれているのかについて簡単に説明しておきたい。ウェブトゥーン版、ドラマ版が依拠する主たるストーリーラインは次の通りである。

主人公パク・セロイは、父が務める国内最大手飲食チェーン「長家」^[2]の長男であるチャン・グンウォンの暴力を止めようとしたことから、長家の会長であるグンウォンの父、チャン・デヒ会長の怒りにふれ、逆に暴行の罪を着せられ退学処分になる。高校中退後、唯一の家族である父とともに小さな飲食店を開業するが、その矢先、父がグンウォンにひき逃げされこの世を去ってしまう。さらにセロイはグンウォン暴行の罪で刑務所に入れられてしまった。チャン会長の権力で罪を逃れたグンウォンと、弱いものが権力の前にひざまずくことを当然と考えるチャン会長に復讐するため、すべてを失ったセロイは長家を超える企業を作ることを誓う。セロイの父の援助を受けていたがそれを裏切り、チャン会長の援助をうけて大学進学を果たした、孤児院育ちのオ・スアへの初恋を胸にしまいながら。

出所後資金をためセロイは、多国籍で活気あふれる街「梨泰院（イテウォン）」に魅了され「タンバム」という飲み屋を開く。セロイが刑務所で出会ったチェ・スングウォン、トランスジェンダ

一のマ・ヒョニ、そしてソシオパスだが頭脳明晰でセンスあふれ、セロイに惚れ込んでいるチョ・イソ、チョ・イソに恋する長家の次男チャン・グンスがスタッフとなり、店を盛り立てていく。ドラマ版では、さらに韓国人の父を探しにギニアからやってきたキム・トニーがスタッフに追加された。

セロイは、チャン会長やチャン・グンウォン、さらにその指示をうけ葛藤しながらも長家に手を貸すオ・スアによる妨害工作にもめげず、長家のもう一つの創設家の後継者で、長家の理事をつとめるカン・ミンジョンや、トレーダーとなった高校時代の友人とともにチャン会長を打ち倒そうと試みる。この過程で、ドラマ版とウェブトゥーン版で異なるエピソードが展開する。また、セロイとスア、イソとの恋の駆け引きも描かれる。

そしてついに、セロイはチャン会長とグンウォンの罪を暴き、チャン会長をひざまずかせるとともに父の無念を晴らす。スアを長家から解放し、イソと結ばれ、自らの創業した会社を大企業に育てることに成功するのである。

以下で、「梨泰院クラス」はどのようにウェブトゥーン版とドラマ版で描き分けられたのかを見ていくこととする。

3. 「梨泰院クラス」の翻案

3-1. 作品分析の方法

本稿では、①ウェブトゥーンとドラマ版「梨泰院クラス」において物語の何が強調され、何が削除されたのか、②登場人物間のどのような関係性が強調され、また省略されたかを分析する。